MITSUBISHI

9908R871HE8702

ダクト用換気扇　〔浴室・トイレ・洗面所用〕

優良住宅部品「BL」認定
〈換気ユニット・ダクト用ファン・二部屋用〉

形　名

VD-13ZF5-BL（BL規格　2室用Ⅰ型）
VD-15ZF5-BL（BL規格　2室用Ⅱ型）

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は次のとおりです。

禁　止 ／ 水ぬれ禁止 ／ 分 解 禁 止 ／ 指示に従い必ず行う ／ 電源プラグを抜く ／ アース線接続

⚠警告

禁止	●内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない (排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります) ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない (爆発や引火の恐れがあります)
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショートや感電の恐れがあります)
分解禁止	●改造や必要以上の分解はしない (火災・感電・けがの原因になります)
指示に従い必ず行う	●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります)
アース線接続	●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける (故障や漏電のときに感電することがあります)

⚠注意

禁止	●浴室内に壁スイッチを設けない (感電の恐れがあります) ●直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない (火災の恐れがあります)
指示に従い必ず行う	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う (落下によりけがをすることがあります) ●部品の取付けは確実に行う (落下によりけがをする恐れがあります) ●取付けの際は必ず手袋を着用する (着用しないとけがをすることがあります) ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)
電源プラグを抜く	●取付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

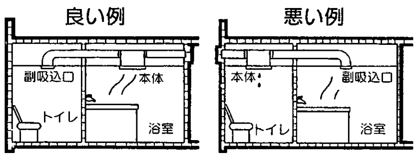
取付け前のお願い

取付け

●高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。
●ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

取付場所

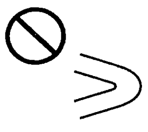
●浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちても不快にならない場所に取付けてください。
●効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
●浴室と他の部屋で使用する場合は必ず本体を浴室に取付けてください。
(本体から水滴が落ちることがあります)



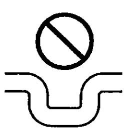
天井・ダクト工事

●天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
●排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)または、雨水などの浸入を防ぐための深形フード(システム部材)などを取付けてください。
●次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

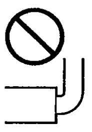
●極端な曲げ



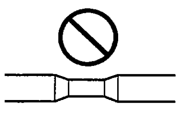
●多数の曲げ



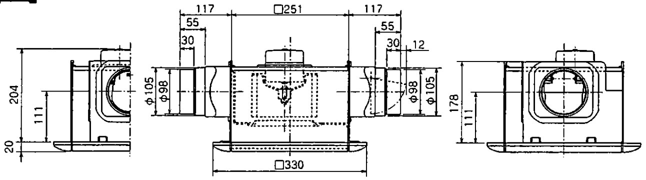
●吐出口のすぐそばでの曲げ



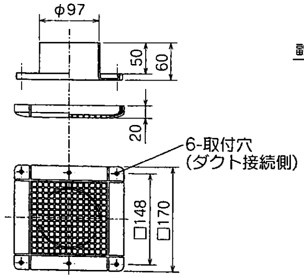
●しぼり

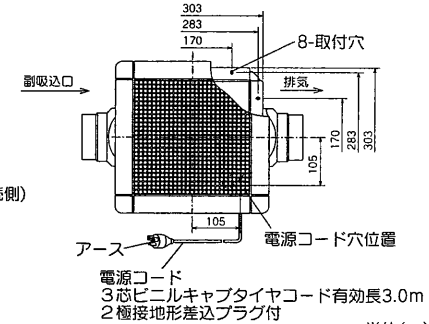


外形寸法図



■副吸込口グリル(同梱品)





単位(mm)

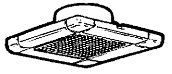
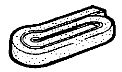
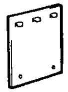
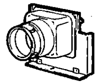
ダクト径

φ100mm

埋込寸法

□260mm
(野縁高さ45mm以下)

付属部品

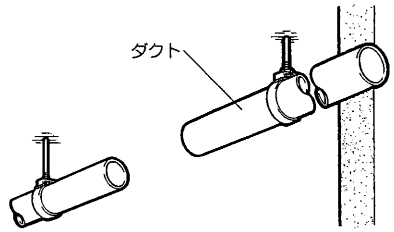
木ネジ……………10本 (ステンレス製) (本体固定用) 	木ネジ……………４本 (副吸込口グリル固定用) 	副吸込口グリル……１個 	パッキン…………１個 (副吸込口グリル用) 
ウチワボルト……１本 	固定板締付ネジ…４本 	固定板……………２枚 	副吸込側 ダクト接続口……１個 

取付方法

取付手順例

1 ダクト工事 ⇨ 2 野縁工事 ⇨ 3 ダクト接続 ⇨ 4 本体の取付け ⇨ 5 電気工事 ⇨ 6 天井材を張る ⇨ 7 グリルの取付け

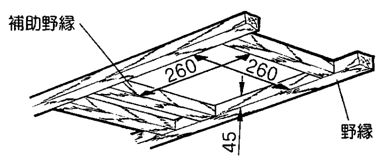
1 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口および副吸込口位置までダクト配管する。

●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。

2 野縁工事

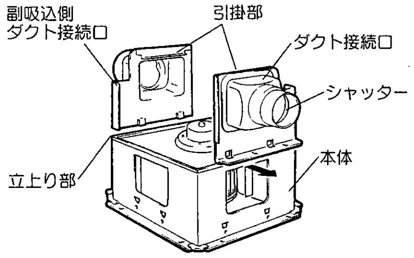


単位(mm)

内寸が260mm、高さが45mm以下になるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。

3 ダクト接続

1

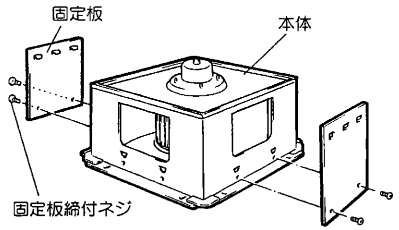


ダクト接続口の取りはずし

●左図のように本体から取りはずす。

> シャッターはテープで固定して出荷されます。
> 必ずテープをはがして取付けてください。

2

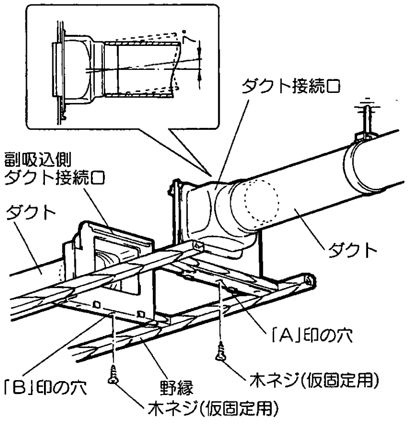


建物および部屋の配置により、取付位置・排気方向・副吸込口方向・壁排気穴の位置決め、固定板の取付け

(1)副吸込口は３方向選択ができるため、使用する副吸込口方向を決める。

(2)使用しない本体の副吸込口は、固定板を本体外側からネジ止めをしてふさぐ。

3



ダクト接続口と副吸込側ダクト接続口の仮固定

(1)ダクト接続口と副吸込側ダクト接続口をダクトに差し込む。

(2)ダクト接続口、副吸込側ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ各１本で仮固定する。

(ダクト接続口側は「A」印の穴、副吸込側ダクト接続口は「B」印の穴を使用します)

●塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)
(副吸込側ダクト接続口も同様です)

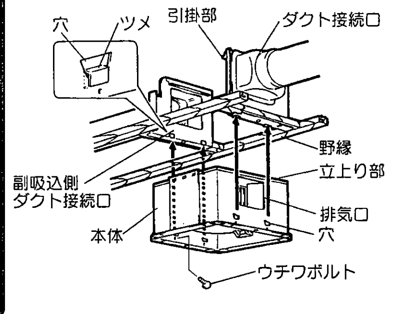
お願い

●**ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。**

取付方法 つづき

4 本体の取付け

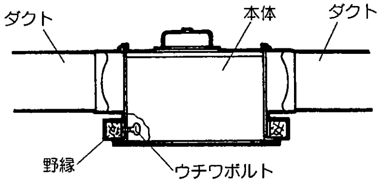
1



本体の差し込み

(1)付属のウチワボルト１本を排気口の反対側にあるネジ穴に仮付けする。
(2)本体は副吸込側ダクト接続口にはめ込んだ後、ダクト接続口にはめ込む。
●本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。

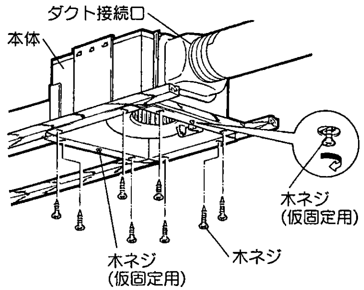
2



本体の仮固定

●ウチワボルトを締め付け本体を仮固定する。

3

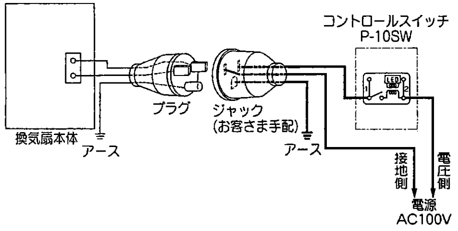


本体の固定

(1)付属の木ネジ(８本)で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間がありますと風漏れの原因になります)
(2)ダクト接続口、副吸込側ダクト接続口を仮固定している木ネジ各１本を締め付ける。
(3)風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。
(4)仮固定したウチワボルトを取りはずす。
(取りはずさないと発錆の原因になります)

5 電気工事

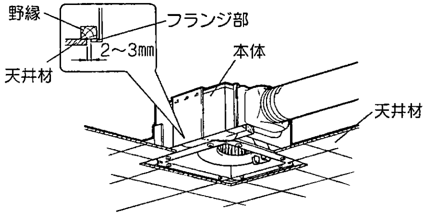
■結線図 (太線部分を結線する)



電源プラグと同形のコンセントを設けて差し込む。

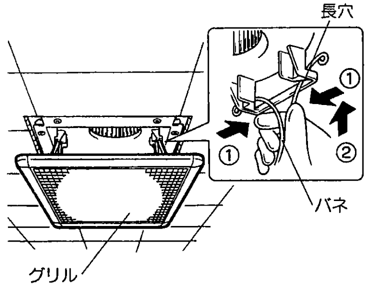
●電源コード先端には、2極接地形差込プラグ(7A、125V、WF7004相当品)がついていますので、同形のコンセントを取付ける。

6 天井を張る



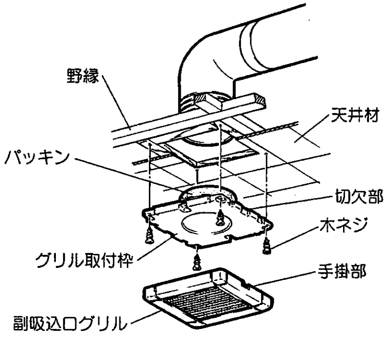
(1)天井材を張る。
(2)本体のフランジ部分と天井材とは必ず２～３㎜のすき間があくよう角穴をあける。

7 グリルの取付け



本体側の場合

(1)グリルの２つのバネをにぎって、本体内部の長穴に差し込む。
(2)手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。



副吸込側の場合

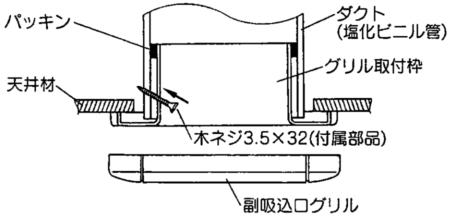
(1)内寸120㎜角となるように野縁を組む。
(2)副吸込口グリルとグリル取付枠に分ける。
●塩化ビニル管・鋼板管に差し込む場合は、付属のパッキンを巻き付け差し込みます。
●フレキシブルダクトに差し込む場合は必ずテーピングしてください。(風漏れ防止)

お願い

●パッキンを巻き付けない、またはテーピングしない場合は天井裏より空気を吸い込むため、換気風量が低下します。

(3)付属の木ネジ(４本)でグリル取付枠を天井材に固定する。
●タイルの目地に合わせて取付ける場合、中央のネジ２本で固定します。
(4)副吸込口グリルの手掛部とグリル取付枠の切欠部を合わせて上に押し上げ取付ける。

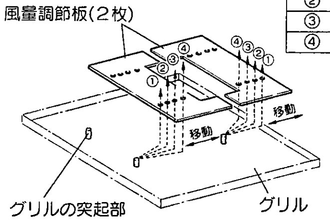
副吸込口グリルを直接ダクト(塩化ビニル管のみ)に固定する方法



(1)グリル取付枠に付属のパッキンを巻き付けダクトに差し込む。
(2)天井材とのすき間がないことを確認して、付属の木ネジを薄肉部から斜めに貫通させて固定する。
(薄肉部…グリル取付枠の内側に2か所あります)
(3)副吸込口グリルを取付ける。

本体側と副吸込側の風量調節のしかた

穴位置	本体風量：副吸込風量
①	約1.5：1
②	約2：1(出荷時)
③	約2.5：1
④	約3：1

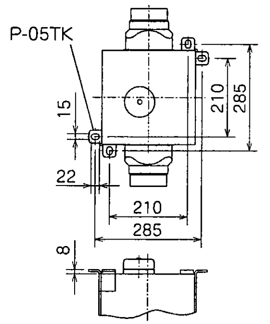


●本体グリルの風量調節板は、工場出荷時、本体風量：副吸込風量を②約２：１にセットしてありますが風量調節板を移動することによって①約1.5：１、③約2.5：１、④約３：１まで変えることができます。
●風量調節板を取りはずしてしまいますと副吸込側が吸い込まなくなります。

天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して取付ける方法も兼用してください。

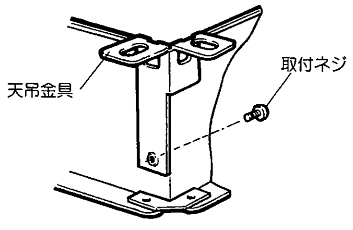
1



単位(mm)

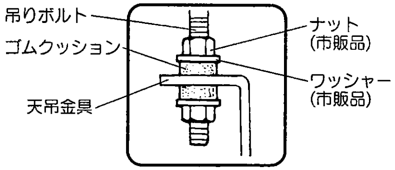
左図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8）を埋め込む。

2



システム部材の天吊金具（P-05TK）のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定する。

3



本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットで確実に固定する。

試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。
1.コントロールスイッチにて正常な運転ができますか？
2.振動・異常音はありませんか？

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111